

令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業  
成果報告資料（2/17）

# 未病状態のからだケア

素材～製品・サービス異業種連携での  
ワークショップを通じた行動変容プログラムの提供

東レ株式会社

# 事業設計の背景・事業目的

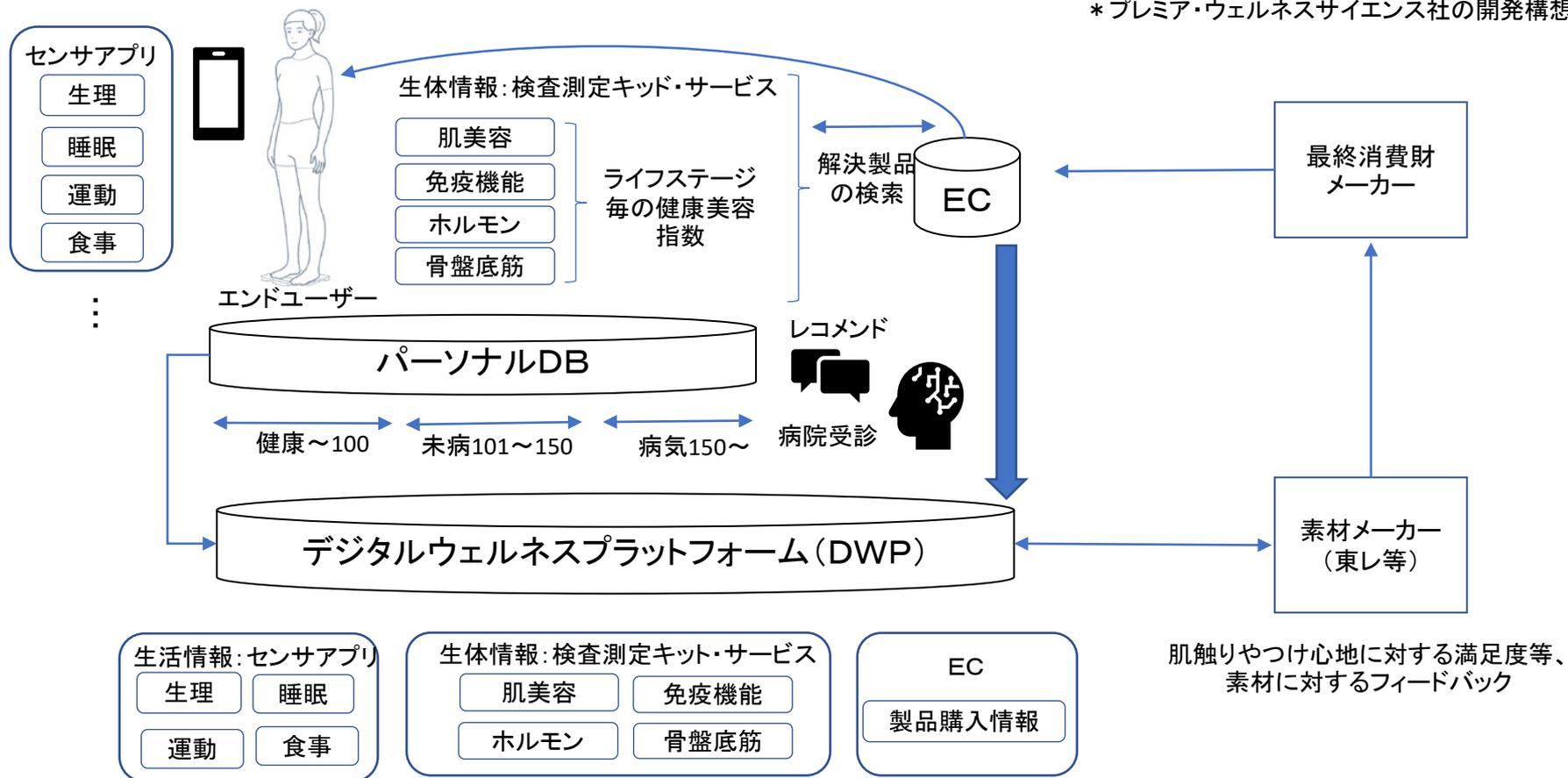
- 対象：月経随伴症状などのためにプレゼンティズムが低下した状態にある（60%以下）20~30代の協業各社女性社員 15名
- ケアの必要性を知る機会増加⇒人生設計を立てやすくなり、企業全体での労働生産性の向上にも寄与
- デジタル基盤（デジタル・ウェルネスプラットフォーム：DWP と略）の要件定義を並行して実施

## 【提供したフェムテック等サポートサービス】

提供元	製品・サービス名	段階
ネクイノ	スマルナ for biz オンラインピル処方サービス	社会実装・普及
PWS	CBDサプリ・化粧品	発売初期
あすか製薬 メディカル	自宅でできるホルモンチェックサービス ・唾液E2/P、毛髪コルチゾール	開発中
東レ	痛みのコミュニケーション	コンセプト検証

# めざす姿 未病状態のからだケア～デジタル・ウェルネスプラットフォーム\*～

\* プレミア・ウェルネスサイエンス社の開発構想



- ユーザーに寄り添い、未病状態に気づかせ、からだを良い方向へ導く仕組み
- 他ユーザーの生活情報・生体情報、EC購入情報含め蓄積
- その人にあった解決策をレコメンド。素材メーカーも初期から参画、素材設計からプロダクトに返していくループを作る

# 事業計画

実施事項			2022						2023		
項目	目的	内容	7	8	9	10	11	12	1	2	3
準備	適切な被験者の抽出	アンケート実施	■								
	生活情報記録開始	キックオフの実施	■								
ワークショップ ①	セミナー実施	S R H Rとフェムテック		■							
	座談会実施	医療DX		■							
		痛みのコミュニケーション			■						
	各社リソース提供 正しい製品知識の習得	機能性化粧品			■						
		女性ホルモンと健康			■						
ワークショップ ②	課題の抽出・体験シェア	アンケート実施				■					
	製品・サービス体験	希望者に実施				■					
	顧客生涯価値の評価	アンケート実施				■					
	全体寄り添う環境づくり	各企業へのフィードバック							■		
システム	DWPの要件定義	記録項目の設定		■							
		課題抽出、価値評価						■			

# 事業計画と追加実施事項

実施事項			2022						2023			
項目	目的	内容	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
準備	適切な被験者の抽出	アンケート実施	▶									
	生活情報記録開始	キックオフの実施										
ワークショップ ①	セミナー実施	S R H Rとフェムテック		▶								
	座談会実施	医療DX										
		痛みのコミュニケーション										
	各社リソース提供 正しい製品知識の習得	機能性化粧品										
		女性ホルモンと健康 セルフケア行動プラン										
ワークショップ ②	課題の抽出・体験シェア	アンケート実施				▶						
	製品・サービス体験	希望者に実施										
	顧客生涯価値の評価	アンケート実施										
	全体寄り添う環境づくり	各企業へのフィードバック										
	オンサイトイベント	医療監修者との交流										
システム	DWPの要件定義	記録項目の設定		▶								
		課題抽出、価値評価										

シミックソリューションズ(株)  
/ (株)ヘルスケアシステムズ  
自己採取検査キットご紹介  
「エクオール検査」  
「HPVウイルス」



妊活と仕事の  
両立につ  
いて

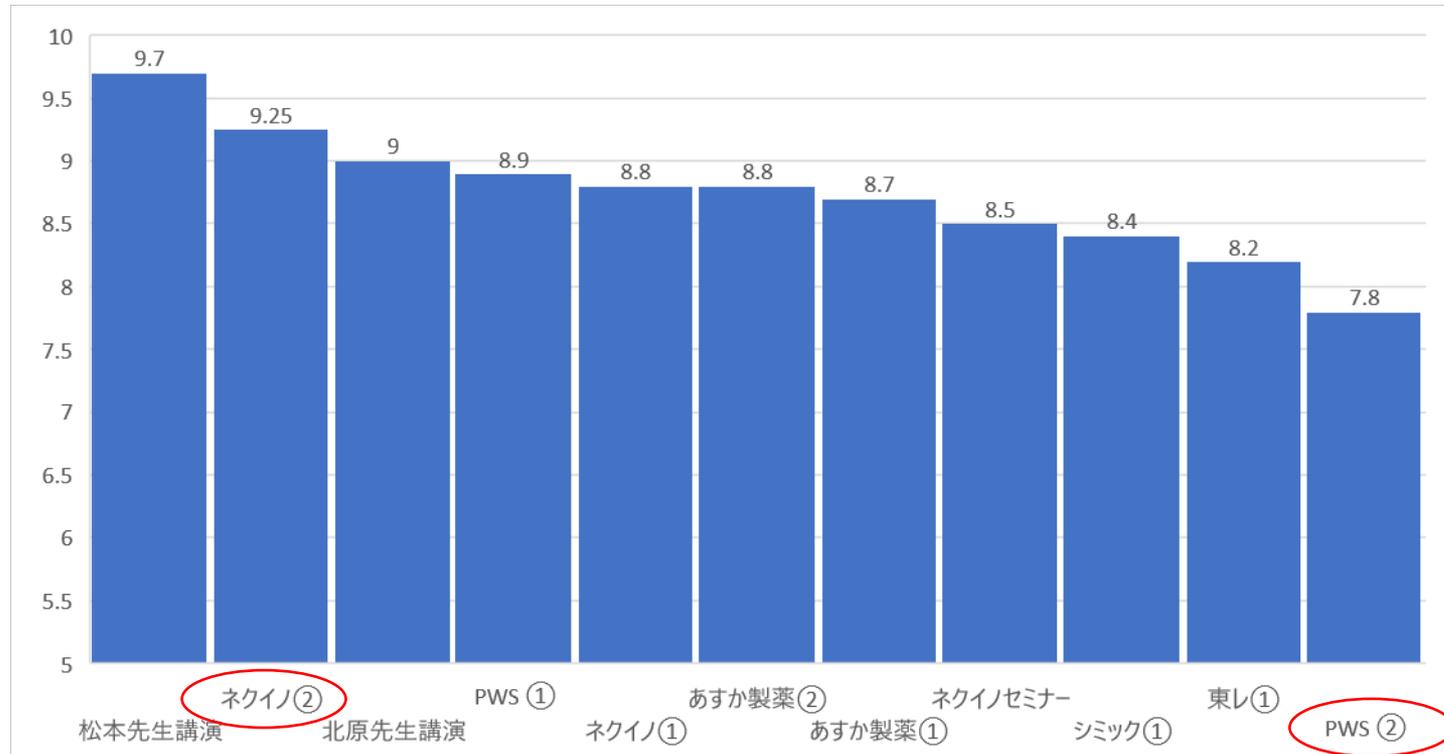
MFC 松本理事長



滋賀医大北原先生  
月経随伴症状と仕事との関係

# 本事業の成果 満足度

注 ①：ワークショップ① ②：ワークショップ②



## ネクイノ② スマルナ for biz

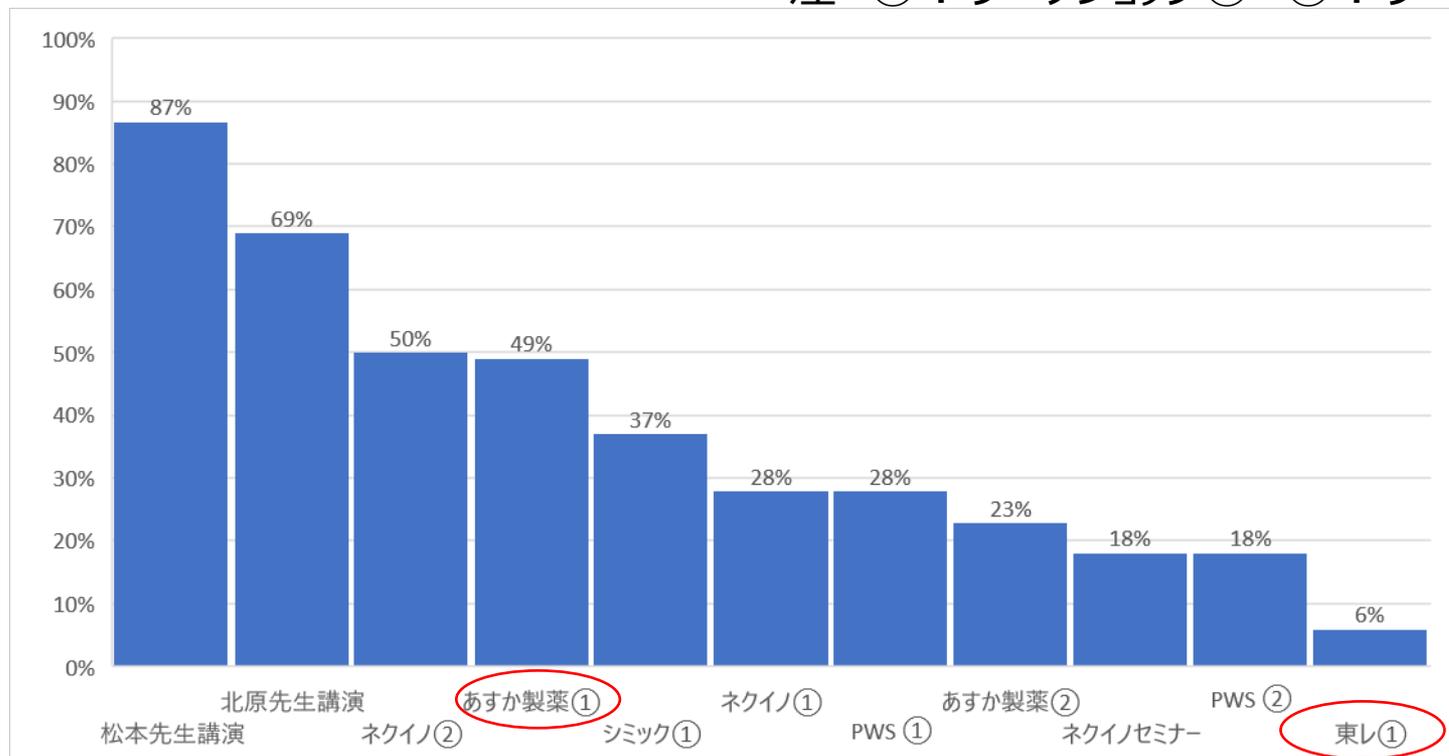
- 子育て世代の方など、時間を取るのが難しい方にぜひおすすめしたい。
- 自分が実際に使用してすごくいいと思いました。

## PWS② CBDサプリ・化粧品

- 期間中には、体感できるような変化は感じられなかった。
- 使用した時の方がストレスが緩和された気がする。睡眠の質や皮膚の炎症も抑えられている気がした。

# 本事業の成果 NPS (他者へのおすすめ度：推奨者%－批判者%)

注 ①：ワークショップ① ②：ワークショップ②



## あすか製薬① ホルモンと女性の健康

- ・ イライラしていると自分が嫌になることが多いけど、ホルモンのせいだと考えて自分に優しくなれそうです。

## 東レ① 痛みのアプリPOC

- ・ 痛みのコミュニケーションの発想はとても好きで内容は納得できました。痛みを感じる時にアプリを開くという動機付けの部分がよりスムーズになればいいなと思います。

# 本事業の成果 プレゼンティズム

共通指標①		有効回答数: 15人	
		Before	After
絶対的プレゼンティズム	平均値	42.67	54.00
	中央値	50.00	60.00
	改善した人数とその割合	8人 (53.3%)	
相対的プレゼンティズム	平均値	0.77	0.79
	中央値	0.71	0.75
	改善した人数とその割合	7人 (46.7%)	

対象 絶対的プレゼンティズムスコア 60%以下の参加者15名のアンケート集計を元に算出

# 本事業の課題

提供元	製品・サービス名	段階	課題
ネクイノ	スマルナ for biz オンライン処方サービス	社会実装・普及	企業の福利厚生パッケージ（例：WELBOX）への接続など採用しやすい環境づくり
PWS	CBDサプリ・化粧品	発売初期	認知度向上 効能などの科学的研究蓄積 VOC収集
あすか製薬 メディカル	自宅でできるホルモン チェックサービス ・唾液E2/P ・毛髪コルチゾール	開発中	女性の月経周期における再現性 やN数を増やして信頼性を高める など実用化に向けた検討 販路等の開拓
東レ	痛みのコミュニケーション	コンセプト検証	社内フィードバックループを回しβ版 完成。社内公開・解像度向上 製造業×フェムテックへの寄与

# 本事業の課題：DWP

- 初期領域に「フェムテック：PMS月経諸症状の改善」を仮案として設定。今回の実証事業の参加者においては、月経管理はスマホ使用が進んでいるが、PMSや痛みなどの諸症状の可視化や他者との共有に課題があり、ここがペインポイント。
- ウェルネスECと連携するパーソナルウェルネスDBは、健康維持、予防の視点から生活者が、身体機能に何らかの障害をきたしている状態に至るまでの遷移データと、健康改善や健康維持を目的としたサービス・製品を利用する前後のデータ（効果測定）が重要。
- こうしたデータを取得・連携・統合させて社会や国民に対して価値提供をしていく企業は、近年急増しているが、共通課題としてデータ蓄積だけにとどまっている傾向がみられる。
- データ蓄積以降の“活用”において、実際のユーザーが実感できる価値に結びつける難易度が高く、IoTハードウェアやデジタル関連の技術的課題を乗り越えるよりも、ユーザー獲得・価値実感・普及における社会実装が最大の課題



PREMIER  
WELLNESS SCIENCE

生体の分子識別機能を有するIoTバイオセンサー研究開発  
現在：プレミア・ウェルネスサイエンス社と東京大学生産技術研究所との間で共同研究中  
経皮マイクロニードルを用いて細胞間質液中に含まれるバイオマーカーを測定・画像解析・デジタル化転送技術を行う

# 今後に向けて：タフネスからイキイキへ！

現況の課題	こうなしてほしい／提案
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 今回受講したワークショップ（医学的なホルモン、不妊治療、SRHRなど）で得た情報は、普段の会社生活では得られにくい。</li> <li>✓ 情報・知識を持っている人が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 社員向けの外部研修を導入する。</li> <li>• 入社（若手）／管理職昇格のタイミングで研修受講を必須とするなど</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 日々の会社生活を快適に過ごすために、ハード面でまだまだ改善できることがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 横になって休める休憩室、トイレ、等</li> <li>• （特に製造業である東レでは）仕事の内容や、作業環境の、意見を拾って改善につなげたい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 人生に色々な選択肢が増えている（結婚しない、子供を作らない、不妊治療）。働き方も多様化している（時短、在宅、パパ育休など）。</li> <li>✓ 上司や先輩にロールモデルはいないが後輩が入ってきた。自分が第一号になる不安と使命感・・・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 色々な人がいる、ということを知って、お互いが理解し合える風土づくりが必要</li> <li>• 個人の働き方や健康課題について（パパ育休、不妊治療との両立、職場紹介など）事例紹介するのはどうか （こんな風に頑張ってる人もいるんだ・・・！一人じゃない）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 会社のフォロー体制。</li> <li>✓ 情報がオープンになっているか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業として情報の開示</li> <li>• 会社の制度や仕組みを明らかにして、PR</li> </ul>

# 今後の事業展開



対象	課題	2022年度	2023年度	2024年度	2025~2027年度	2028~2030年度
ユーザー	働く女性 (20~30代) (生理・月経)	7月 ▼ ワークショップ① ▼ 報告会				
	働く女性 (妊娠・出産、更年期)		7月 ▼ ワークショップ② ▼ 報告会			
	ユーザー数拡大 (①+②)			7月 ▼ 拡大ワークショップ ▼	▼ 事業性判断 ▼	参加企業数拡大
提供製品・サービス	信頼性・安全性確保した上での幅・深さ	化粧品・ホルモンチェック オンライン健康相談	+ 衣料	+ 食品・サプリ等		幅と深さの拡大
システム	基盤構築	要件定義	プロトタイプ開発	運用テスト	企業の福利厚生向け提供開始	一般ユーザーへ拡大
地域	情報格差の是正	4以上/47都道府県中	8以上	12以上		30以上
PJ管理	スキーム・役割分担の定期的な見直し	振り返り・課題設定	振り返り・課題設定	振り返り・課題設定	総括	